

大崎市議会だより



第78号

令和5年9月1日発行

今回の定例会は



- トピックス……………2～3
- 議案審議……………4～7
- 一般質問……………8～15



川渡温泉駅開業109年記念事業 幻燈会
南野際会館(鳴子温泉地域)

鳴子一小牛田



南野際会館

ピックアップ

いて、議論がなされました。

詳細は6ページへ

公共交通
利用促進

鳴子温泉郷JR陸羽東線等公共交通利用促進事業 6,300万円

令和5年10月から6年1月までに、陸羽東線を利用して鳴子温泉郷の事業参加施設に宿泊した方へ、パタPAYで2,000円の電子クーポン券を交付

※パタPAY…「宝の都(くに)・大崎」プレミアム電子商品券

古川駅前
環境整備

駐車場等管理経費

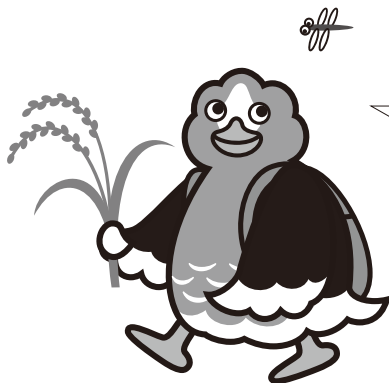
825万円

老朽化した古川駅前バスプール乗降場の屋根を補修

同意

大崎市農業委員会委員の任命について

農業委員26名の任命について同意



議会の権限として、条例・予算・決算等の議決のほか、副市長・各種委員等の人事案件の同意もあるパタ。

第2回定例会 (令和5年6月15日～6月29日)

定例会ト

令和5年度補正予算につ

令和7年4月
開校へ

日本語学校整備事業

3,799万円

日本語学校の設置場所決定に伴う、設計費及びトイレ洋式化、教室の床・壁等の施設改修経費
6年度は屋根の塗装改修、照明のLED化、エアコン設置等を予定し、債務負担行為として1億8,318万円を計上

安心・安全な
まちづくり

総合防災情報システム構築委託料

3,850万円

正確な情報収集を行い、被害状況・避難判断を支援するシステムを構築し災害情報をいち早く発信

物価高騰対策

畜産飼料価格高騰対策支援事業

8,000万円

令和4年6月を基準に、4年9月から5年2月までの上昇分を基礎に、畜種・規模に応じて支援金を交付

子実用とうもろこし播種機導入支援事業

500万円

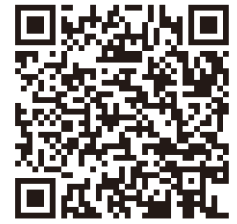
良質な国産飼料生産へ、JAの播種機導入を補助

令和5年 第2回定例会

今定例会では、市長提出の令和5年度大崎市一般会計補正予算をはじめとする予算案2件、条例4件、人事26件、報告6件、専決処分11件、その他7件、議員提出議案1件が提出され、このうち、決議案第1号は賛成少数で否決となりました。その他の議案は原案のとおり可決されました。

また、請願2件の審査も行われ、請願第2号は不採択となり、請願第3号は継続審査となりました。

詳しくはこちらへ



議案審議（こんな事を議論しました）

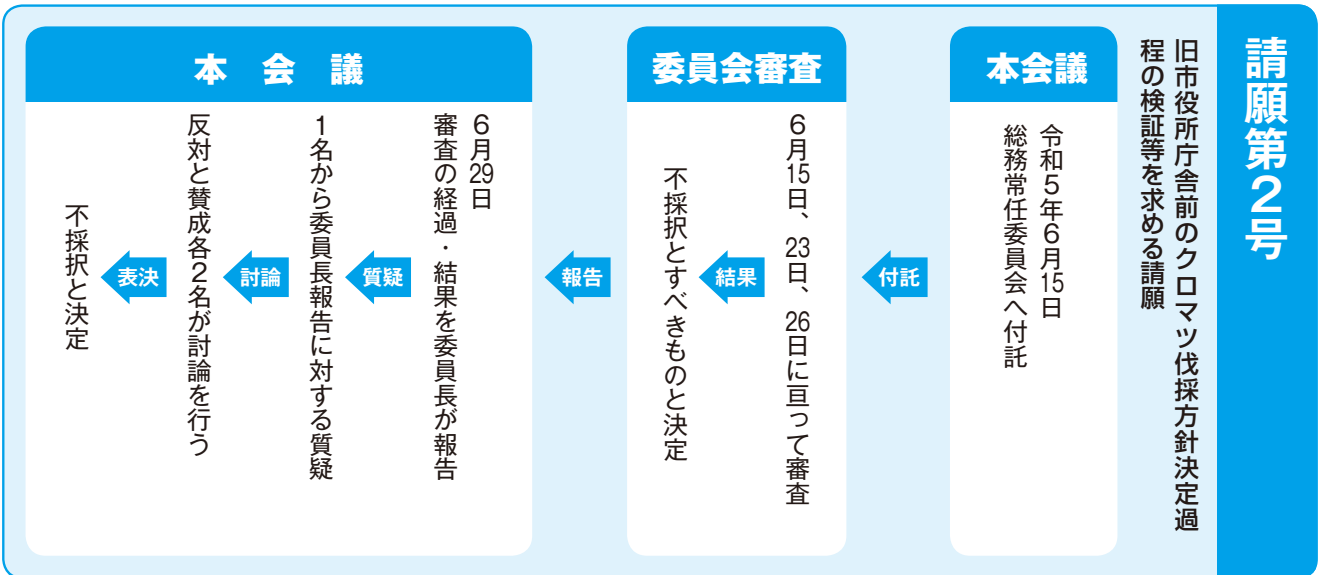
		件名	審議結果
報 告	報告第4号	令和4年度大崎市一般会計繰越明許費繰越計算書	—
	報告第5号	令和4年度大崎市一般会計事故繰越し繰越計算書	
	報告第6号	令和4年度大崎市水道事業会計予算繰越計算書	
	報告第7号	令和4年度大崎市下水道事業会計予算繰越計算書	
	報告第8号	交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	
	報告第9号	公の営造物の管理の瑕疵に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	
専 決 処 分 承 認	議案第52号	令和4年度大崎市一般会計補正予算（第15号）	原案承認
	議案第53号	令和4年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	
	議案第54号	令和4年度大崎市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	
	議案第55号	令和4年度大崎市一般会計補正予算（第16号）	
	議案第56号	令和4年度大崎市市有林事業特別会計補正予算（第1号）	
	議案第57号	令和4年度大崎市介護保険特別会計補正予算（第4号）	
	議案第58号	令和5年度大崎市一般会計補正予算（第2号）	
	議案第59号	令和5年度大崎市一般会計補正予算（第3号）	
	議案第60号	大崎市市税条例等の一部を改正する条例	
	議案第61号	大崎市都市計画税条例の一部を改正する条例	
議案第62号	工事施行協定の締結について		
人 事	議案第63号～88号	大崎市農業委員会委員の任命について	原案同意
補 正 予 算	議案第89号	令和5年度大崎市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
	議案第90号	令和5年度大崎市病院事業会計補正予算（第1号）	
条 例	議案第91号	大崎市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	議案第92号	大崎市市税条例等の一部を改正する条例	
	議案第93号	大崎市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	
	議案第94号	大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
そ の 他	議案第95号	財産の取得について	原案可決
	議案第96号	損害賠償の額を定めることについて	
	議案第97号	指定管理者の団体の名称の変更について	
決 議	決議案第1号	議案第89号 令和5年度大崎市一般会計補正予算（第4号）に対する附帯決議	否 決
そ の 他	議案第98号～第100号	工事請負契約の締結について	原案可決
	議案第101号	和解について	
請 願	請願第2号	旧市役所本庁舎前のクロマツ伐採方針決定過程の検証等を求める請願	不採択
	請願第3号	小中学校給食費の無料化に関する請願	継続審査

意見が分かれた議案の賛否一覧

決議案第1号 議案第89号令和5年度大崎市一般会計補正予算(第4号)に対する附帯決議
 請願第2号 旧市役所庁舎前のクロマツ伐採方針決定過程の検証等を求める請願

議員名	藤本 勘寿	小嶋 匡晴	小玉 仁志	山田 匡身	加川 康子	法華 栄喜	石田 政博	早坂 憂	伊勢 健一	鹿野 良太	佐藤仁一郎	八木 吉夫	佐藤 弘樹	中鉢和二郎	相澤 久義	鎌内つぎ子	木村 和彦	横山 悦子	遊佐 辰雄	只野 直悦	富田 文志	後藤 錦信	氏家 善男	木内 知子	小沢 和悦	佐藤 勝	佐藤 講英	関 武徳
決議案第1号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	欠	×	議
請願第2号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	欠	×	議

「可」→可決、「否」→否決、「認」→認定、「○」→賛成、「×」→反対、「欠」→欠席、「議」→議長



討論 議案第2号 旧市役所庁舎前のクロマツ伐採方針決定過程の検証等を求める請願

(請願趣旨) クロマツの伐採方針決定過程には、不十分な検討並びに事実と反する事項等がある。
 伐採方針決定過程を検証し、市民と意見交換し、最終決定すること。

請願採択に賛成の討論

倒木の危険があり、クロマツを残すと駐車台数が大幅に減るとの事だが、専門家は木が長年もつと太鼓判を押している。市民と意見交換を積み重ねて伐採方針を決めたというのが、旧市役所前の遺跡、クロマツを議題にした会議等は2度のみであった。駐車場の図面を提示し、意見が無かったので、伐採を決めたというのが、これは論理の飛躍である。専門家の意見を聞き、議会として伐採方針決定過程が適切であったかを検証すべきである。

請願採択に反対の討論

クロマツは指定文化財ではなく、標柱も旧古川代官所跡地に対するもので、クロマツについて個別具体的に明言された会議が2回のみでも合理性がある。市民との意見交換회가4回、基本設計策定後には市ウェブサイトへ掲載、近隣の住民説明会が3回行われ、図面を用いて駐車場整備の説明を行った。旧庁舎前の植え込み2か所は移設要望があり、クロマツに対しては要望等が無かった。市民等の理解が得られたとし、伐採方針を決定した事は理解できる。以上から、決定を覆すほどの大きな瑕疵等は見当たらず、請願の採択に反対するものである。

第2回定例会 議案審議

令和5年第2回定例会の議案審議は、6月20日、21日の2日間で延べ14人が質疑を行いました。
議案質疑の要旨については次のとおりです。

日本語学校整備事業

問 旧西古川小学校が選定された経緯について。

答 設置を希望された古川地域の西古川、東大崎、清滝、岩出山地域の上野目の4施設を対象に、立地要因・施設要因・財政負担の3点を細分化・点数化して評価し、留学生の視点に立ちながら、選定会議において検討を進めた。

問 宮城県と市の財政負担について。

答 当初から県とは協議しているが、利活用する場所によって、使える財源が異なるため、これから具体的に進めていく。また、同様に国へも支援を求めます。

防災対策費

問 増額理由について。

答 これまで取りまとめに時間を要していた被害状況や、避難判断を支援する総合防災情報システムを構築するため。

問 導入目的について。

答 今まで以上に迅速かつ的確に避難情報や災害情報を市民へ周知すること。また、防災情報システム構築の中で、災害情報の住民ポータルサイトを機能として整備し、防災情報システムで収集した気象情報や、災害情報等を随時発信していく為のものである。

畜産飼料価格高騰対策支援事業

問 令和4年度よりも増額した理由は。

答 4年度よりも5年度の価格上昇の割合が大きく、配合飼料の依存率が高い肥育牛と乳用牛への交付単価を増額した。なお、乳用牛の交付単価は他の畜種よりも交付割合を大きくした。

駐車場等管理経費

問 補正内容について。

答 老朽化が著しい古川駅前広場のバスプールの乗降場の屋根、バス用4棟、自家用車用1棟の雨どいの破損、腐食箇所を修繕するものである。

鳴子温泉郷JR陸羽東線等公共交通利用促進事業

問 補助対象について。

答 鳴子温泉郷に宿泊された方を対象に、1泊あたりパタPAYで2,000円を交付する。必ず鳴子温泉地域の駅で乗降車しなければならぬものではなく、他の駅で降りて、観光シタクシー等で宿に向かつて対象となる様に検討している。また、パタPAYの利用については、地域を限定せずパタPAY参加店すべてで利用出来る。

問 パタPAY導入の促進について。

答 キャッシュレスに抵抗のある宿泊施設、商店もある。商工会議所、観光協会、アドバイザー等と一緒に研修会を行い、店舗を増やせる様に実施していく。



102万円の公金亡失の対応

議案第52、53、54号の一般会計補正予算の歳入として損害保険金が計上された。

これは、納税課の金庫から無くなった公金について、捜査の状況次第で返金するとの条件付きで全国市長会の公金損害保険金として補填されたものである。本件については、現在も古川警察署で捜査継続中であり、新事実が判明すればそれに応じて対応するとの事である。また、再発防止の為の検証・対策を講じている。

和解の追認（議案第101号）

市は令和5年1月30日に市有林無許可伐採について和解契約を締結した。和解は本来であれば、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決が必要な案件であるが、執行部は市が被害者の場合には議決が不要との誤った認識により、損害賠



産業常任委員会で行われた緊急調査

償金280万円、杉の植栽、その後4年間の植栽の下刈り作業及び報告を条件に和解を締結しており、議会に追認を求めた。

経過

令和4年10月

31日、宮城県からの連絡で発覚

11月

8日、県と合同で現地調査、市有林伐採を確認
10日、県と合同で目視及びドローンで伐採範囲を確認
17日、今後の対応について県と協議

12月

6日、伐採当事者（事業者、森林所有者）からの聞き取り及び現地調査

5年1月

30日、大崎市有林無許可伐採における損害賠償和解契約書を締結

6月

15日、専決議案審議で議決を経ずに和解していた事が発覚

6月

21日、26日、議員全員協議会で協議
22日、所管の産業常任委員会にて現地確認を含む緊急調査
26日、議会運営委員会に諮り、本会議への上程を認める

6月

29日、追加議案質疑を行い、表決の結果、和解を追認

議案審議（こんな事を議論しました）

傍聴者人数

第2回定例会

105人

議会中継(LIVE) アクセス件数

第2回定例会

3,649件

第3回定例会の予定

次の第3回定例会の予定は、令和5年9月14日から10月6日までを予定しています。

ご意見・ご感想をお寄せください

議会だよりについて、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡下さい。

発行 大崎市議会

〒989-6188 大崎市古川七日町1番1号

TEL 0229-23-2236 FAX 0229-23-1013

E-mail gikai@city.osaki.miyagi.jp

メール送信はこちらへ





一般質問

令和5年第2回大崎市議会定例会は、6月15日に招集され、6月29日までの15日間の日程で行われました。

市政に対する一般質問は、6月26日、27日、28日、29日（4日間）の日程で、23人が市長の見解を質しました。要旨は次のとおりです。

一般質問（市長に聞きました）

地域自治組織活性化・環境保全等



石田 政博



問 地域支援の見通しと交付金活用事例の紹介・周知について。

答 まちづくり連絡会議を年4回に増やし、担当職員が伴走する。

問 一般ごみの収集で、高齢者や単身世帯を考慮した指定ごみ袋の小型化改良とスーパリー等との提携の考えについて。

答 先進事例を調査し、広域行政で他市町の衛生組合担当課長会議で検討する。

問 市民一斉清掃の在り方について。

答 作業が困難な場所は現地確認し、対応を検討するとともに、新たなボランティアを掘り起こし継続体制を整える。

問 若者が移住したいまちづくりのアピールの長期的展望と移住先となる空き家の確保策について。

答 移住体験企画や空き家を団体等で借り上げ、貸し出す方向について検討中。

掲載以外の項目
・動物愛護と環境保全対策の今後の協力体制

水害常襲地解消策



鎌内つぎ子



問 福浦、江合、福沼、李埴地域の雨水計画策定を伺う。

答 雨水管理総合計画を中期・長期で検討し、令和5年度中に策定予定。

子育て支援策の強化

問 認可保育園の経営危機対策として、園舎建て替え費用借入金補助や保育士一人分の補助、保育施設給食継続支援金の継続、ICTシステム導入の補助を検討出来ないか伺う。

答 園とも話し合い、支援の在り方を検討する。

古川東児童センターの環境整備

問 放課後児童クラブは定員100名に対して、5年度登録児童総数は125名で自由来館も含めると最大139名。夏休み前までに、わいわいキッズ大崎など利用を検討出来ないか。

答 提案も含めて、幅広く検討する。



早坂 憂



大崎市内の不登校の現状と対策

問 大崎市内の不登校の現状を伺う。

答 令和4年10月に発表された、3年度児童生徒の問題行動、不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果では、大崎市の不登校出現率は、小中学校ともに全国平均よりも上回っており喫緊の課題であると捉えている。不登校や不登校傾向、そして、教室で過ごす事に困難を抱えている児童生徒に対し、個々の状況に応じて適切な支援に結び付けられるよう、組織的に対応している。

問 不登校特例校の設置や、民間学校法人の誘致について伺う。

答 現在検討を進めており、5年6月13日には、仙台市にある私立ろりぽっぷ小学校の視察を行った。今後、全国の取組を含めた情報収集に努め、本市の状況等を見極めながら必要な検討を行い、児童生徒の学びの機会を確保し、居場所づくりに努めたい。



横山 悦子



安心・安全な子育て環境整備

問 古川東児童センターは、100名の定員に対し、最高児童数139名が来館し、密接・密集となっている。夏休みに向けたサテライトの考えと、児童一人ひとりの健康や安全の確保のため、遊戯室にエアコンを設置するなど、熱中症対策について伺う。

答 サテライト設置については、必要なサービスマン等を把握し、教育委員会や委託事業者と協議・検討する。熱中症対策は、環境を含めて児童の体調を考慮した指導について依頼する。

問 鹿島台中央児童館は、児童数が多いが、建物の老朽化、エアコンの設置、駐車場拡幅等の問題について伺う。

答 必要なサービスマンの把握など、児童にとって何が望ましいかを検討する。保護者用駐車場については、手狭な状況を認識しており、拡張の可能性を委託事業者も交えて検討する。



木村 和彦



新斎場等へのアクセス

問 新古川斎場周辺の市道整備について、市は4年計画で整備を進めているが、舗装の修復が中心となっている。令和3年に、地区代表の方々に要望書を提出している。今後の進捗状況と要望の対応について伺う。

答 4年度から4カ年計画で現在進めている。現状の道路を補修修繕して通行に支障が無い様に工事を進めている。今後の工事の進め方は、地区の方々と十分に協議して進める。

問 旧富永小学校校舎は、JA古川が本店として利用の意向を示している。周辺道路が狭隘だと指摘があるが、対応について伺う。

答 学校周辺の通行規制は、既に解除している。しかし、この路線はスクールパスの運行経路であり、児童の安全を第一に考えて、対処していく。その他の路線は今後協議していく。



只野 直悦



胃がん検診に内視鏡の導入

問 国では平成29年に内視鏡検査を推進しており、バリウム検査から移行している自治体が急速に増えつつある。早期の胃がんは内視鏡の方が異変の発見に優れているので、導入について所見を伺う。

答 これまで、実施に関して大崎市医師会と検討した経緯があるが、今後、課題解決に向けた協議を行なっていく。

横断大崎耕土マラソン大会

問 令和5年3月15日開催の「おおさきネイチャーポジティブシンポジウム」において鹿島台商業高校生が研究発表で提案した「横断大崎耕土マラソン大会」は、大崎地域全体を盛り上げようとする素晴らしい内容だった。関係機関連携の下に実現させてはどうか。

答 研究発表に感動した。大会の実現には交通規制等課題は大きいですが、是非実現に向けてその課題を整理したい。



小沢 和悦



旧市役所前の遺跡とクロマツ

問 執行部は、市民や議会との意見交換を重ねて伐採方針を決めたというが、クロマツを議題にした市民対象の会議等は無く、専門家からの意見も聞いていない事が判明した。市民との意見交換、専門家の意見を聞き伐採方針の見直しをすべきではないのか。

答 市民や議会にも構想や計画案を示したが質問や意見が無かったので伐採する事を決めた。

公務員の事故への対応

問 令和5年5月21日未明、古川地域内で教員が自家用車で衝突する事故が発生した。市長や教育長は、この事故の報告を受けどう対応したのか。

答 教育委員会としては、緊急の校長会議、市内全校での緊急職員会議で事故の報告をし、注意喚起を呼びかけた。現在、警察当局の捜査中なので、協力している。



中鉢和二郎



大崎市財政

問 統一的な基準による地方公会計制度に基づく財務書類が公表されたが、令和3年度財政状況をどの様に評価するのが所見を伺う。

答 財政状況は、厳しい。

問 市単独で新たな少子化対策に費やせる一般財源がどの程度あるのか伺う。

答 財源の余裕を具体的数値で示す事は難しい。恒久的な財源確保が重要であり、厳しい財政状況の市町村が単独で取り組む事が難しいので、国の財政支援に期待している。

問 行政コスト計算書と純資産変動計算書では、財源が約642億円であり、純行政コストが約643億円、その差がマインスの約1億5,200万円だが、赤字と理解していいのか。

答 ご指摘の通り赤字である。

掲載以外の項目

- ・デジタル等技術系人材の育成・確保
- ・サイクルツーリズム



法華 栄喜



外国資本による森林買収

問 宮城県内では唯一大崎市の森林が売買されているが、この現状について市ではどう捉えているのか。

答 国や県の関係機関と連携・情報収集し、その利用目的に対し森林の役割を阻害しない様に法律に従って指導するなど、適切に対応していく。

陸羽東線の利活用

問 二次交通整備の考え方と観光地への誘導策について伺う。

答 各駅から目的地までスムーズに移動ができる運行体制の構築に向けて、事業者及び各観光・商工団体と話し合いを進める。

祥雲閣の利活用

問 子どもたちへの文化、伝統継承に利用する考えについて伺う。

答 生涯学習事業等を通して伝統文化の体験に繋がるよう各学校に呼びかける。

一般質問 (市長に聞きました)



伊勢 健一



部活動の地域移行

問 休日の部活動地域移行に向けた取組について所見を伺う。

答 令和5年度から、教育委員会生涯学習課内に部活動地域移行推進室を設置し、子どもたちの多様なスポーツや文化活動の場、機会確保に向けた推進体制をとっている。今年度は移行検討期間とし、受け入れ団体や指導者の確保、大会の在り方など課題解決に向け意見交換を進める。

道の駅三本木やまなみの活用

問 道の駅三本木やまなみは、防災、物流業界の2024年問題を考えた際、重要な役割を果たすと考えるが所見を伺う。

答 交通の利便性を踏まえ、ドライバー等が24時間駐車できるスペースとして、地域の活性化にも資する施設であり、防災情報ステーションでもある。平常時は流通拠点として、災害時は物資を運ぶ拠点として、より重要な役割を果たすと考えている。



氏家 善男



玉造交通安全協会への補助金

問 高齢化による免許証の自主返納や入会員の減少等により、玉造交通安全協会の運営が厳しさを増している。令和5年度事業では、事務員への報酬の減額をはじめ影響が出ている。これまでの事業費補助だけでは運営は成り立たない。玉造地区は事業者数も少なく、役員自らが賛助会費を出し会の運営にあたっている。見直すべきではないか。

答 大崎市合併前は旧岩出山町、旧鳴子町から補助金があったが、平成22年度から人件費等への補助の見直しを行い、事業費補助に転換した。今後も補助を継続するほか、運営に対する側面的な支援についても考えたい。

掲載以外の項目

- ・汚泥リン回収施設の誘致
- ・6年度からの大崎市使用料、手数料の見直し
- ・耕作放棄地の現状と対策



小玉 仁志



AYA世代のがん患者支援体制

問 がんになっても誰もが自分らしく生活を送る事が出来る様に、医療分野、行政の垣根を越えたセーフティネット、支援体制の構築が必要と考えるがどう捉えているか。

答 退院した後も自分らしい生活が出来るよう、企業や行政を連携させ、病気になるよう胸を張って生きていける大崎市になるよう連携構築を目指す。

陸羽東線利活用促進

問 本市の取組に対し、JR東日本と課題の共有は出来ているか。

答 双方確認の上、考え方・目標値を設定しており、課題に対しての共通認識も出来ている。

一口メモ

AYA世代のがん患者とは

15歳から39歳の若年層のがん罹患者。



加川 康子



教員の働き方改革

問 教員の働き方改革の目的は何か。

答 教員が子どもたちと接し、本来の業務である教育に携わる時間を十分に確保出来るよう、業務改善や様々な環境を見直していく事が目的である。

問 ICTを活用した業務改善（校務支援システム等の導入等）の取組状況を問う。

答 多忙な教員の業務負担軽減と効率的な校務処理には、校務支援システムの導入と活用が効果的である。今年度は教育委員会、市内小中学校及び県立学校の代表者をメンバーとし、大崎市ICT教育支援プロジェクトチームを立ち上げ、今後の情報環境の整備等に関し、システム導入に向けた話し合いなど、ICT教育の更なる推進を図っていく。

掲載以外の項目

- ・デジタル技術を活用した市民参画
- ・男女共同参画事業



佐藤仁一郎



地域活性化に繋げる支所職員の育成

問 合併から17年、旧市町それぞれの歴史や資源・宝から、七色の虹にたとえられた大崎市。全国的な人口減少社会の中でも、本庁との連携と共生により、どの地域も取り残さない持続発展が求められる。それぞれの地域が抱える課題を解決し、地域活性化に繋げる、支所職員の育成策を問う。

答 本市では、採用から10年間で総合支所を含めた3部署を経験出来るよう、育成型ジョブローテーションを行っている。若手職員が地域の現状を知る機会を設け、総合支所で形成した人的ネットワークを生かしながら、地域理解に基づいた施策に取り組めるよう努めている。

掲載以外の項目

- ・学校統合に伴う体育館等の利活用策
- ・本気で取り組む田んぼダムの推進策



佐藤 弘樹



災害減災対策

問 災害時の情報収集や市民への情報提供は重要だが、今後のシステム構築並びに運用面で対策強化に繋げる考えは。

答 災害時情報発信の検討を重ねた結果、総合防災情報システムの導入する事とした。現情報サービスにSNSや情報弱者も考慮した伝達体制構築に取り組み。

発達障害支援

問 発達障害に起因する不登校児童・生徒の支援状況と、現況調査を実施しての先進事例を踏まえた取組への考えは。

答 発達障害を含む全児童・生徒の不登校状況を把握し、相談体制はじめ関係者が連携した確実な支援に取り組みたい。

掲載以外の項目

- ・動物飼育対策での協働事業や支援策
- ・障がい者就労支援の現況
- ・鹿島台及び松山公民館の整備計画
- ・鹿島台中央児童館の整備と在り方

一般質問 (市長に聞きました)



木内 知子



学校給食無料化の実現

問 憲法26条は、義務教育は無償と定めている。本来、学校給食無料化は国が行うべきものだが、令和4年の全国の出生数は77万747人、本市は622人と過去最少であり、少子化対策は待った無し状況下にある。今議会に提出された学校給食無料化実現を求める署名7千833筆の声に応え、実施に踏み切るべきではないか。

答 多くの市民から要望がある事は承知している。現状の教育予算の中で、無料化の為の財源を継続的に確保することは困難である。また、国策として制度化するのが基本であり、自治体が一歩先んじて行うのは一つの手法かもしれないが、サービス合戦や差別化はあまりすべきでないと思っている。今後も県市長会、全国市長会の立場からも要望していく。



遊佐 辰雄



放射線汚染農林業系廃棄物の処理

問 放射性物質汚染農林業系廃棄物の焼却処理の住民訴訟が結審し、令和5年10月4日に仙台地裁で判決が下される。原告が勝訴した場合は、直ちに焼却を中止する事になるが、その認識で良いか。

答 広域事務組合での訴訟なので答弁は控える。

問 8,000Bq/kg以下になった汚染稲わらを県外で焼却するが、県名や焼却業者をなぜ公開しないのか。

答 風評被害や住民を混乱させないため。

陸羽東線全体の存続

問 一日の通過人員、鳴子―最上間が44人で廃止される危険がある。全線存続させなければならぬが、その存続への対策は、住民運動と一緒に盛り返していくのか。

答 最上町、新庄市、山形県とも一緒に協議して全線存続のため全力を尽くす。住民と協力し、存続運動を盛り上げたい。



小嶋 匡晴



大崎市観光振興ビジョン

問 観光庁の補助事業は観光地域づくり法人（DMO）等を対象としている事が多く、将来的には鳴子温泉郷を有する本市も観光政策を推進する上で必要と思うが、所見を伺う。

答 観光庁の事業等は基本的には自治体（市町村）・DMOがほとんどであり、これからの事業主体はDMOになっていくと思う。大崎市としては今年度から3年間のソフト支援を準備し、地域や事業者がどの様な方向を望んでいるのか見ながら応援していきたい。

掲載以外の項目

- ・温泉事業施策と地域で運営している共同浴場の今後
- ・観光庁が推進しているインバウンド需要受入の環境整備・誘客拡大と大崎市の今後の取組・対応
- ・ICT化を推進する観光DX



藤本 勤寿



事業承継対策

問 市内の倒産・廃業の状況、事業承継対策にどう関与していくのか伺う。

答 市内ではコロナ禍前後で比較し、倒産・廃業を理由とした各商工団体の企業脱会件数に変化は見られ無い。一方で、古川エリアの小売・飲食業は創業しやすいがゆえの倒産・廃業が散見される。令和6年度から稼働するおおさき産業推進機構でも、事業承継対策は重要な課題と認識しており、伴走型支援のオールおおさき体制でサポートしたい。

オープンデータの充実

問 民間活力向上のため、オープンデータの一層の充実を図るべきと考えるが、所見を伺う。

答 他自治体と比較し、オープンデータの充実度合いは劣後していると認識している。今後はAEDの設置箇所や医療機関の一覧など、デジタル庁で推奨されるデータの充実を図りたい。



後藤 錦信



都市交流の場としての森づくり

問 これまで市民の森づくり推進事業が実施され、水源地への植栽が行われてきたが、令和5年からおおさき未来の森事業が開催されている。6年は東京都台東区との姉妹都市提携40周年を迎えるが、その記念事業として、市有林を活用した交流の森づくりを実施し、更なる交流のスタートを図るべきと考えるがどうか。

答 台東区民との交流の森づくりは、姉妹都市交流事業に関し、事務連絡会議を毎年開催しているため、市有林伐採予定地を活用した森づくりについて台東区に提案していく。

掲載以外の項目

- ・森林経営管理制度事業への取組
- ・里山の管理と利活用
- ・市有林事業の取組
- ・大崎市公共施設等総合管理計画の現状



山田 匡身



市民が要望している施設整備

問 サッカーなど多目的に活用できるグラウンドの整備について伺う。

答 サッカー等フィールド競技をされている方からの要望がある事は認識しているが、慎重に判断していきたい。

問 市民鹿島台いこいの森を、桜の名所として整備する事について伺う。

答 いこいの森の豊かな自然を生かしたにぎわいの創出には、地域の意見や様々なアイデアを取り入れ、魅力的な場所づくりを進めていく。

畜産農家の育成支援

問 畜産農家が希望の持てる育成支援について伺う。

答 JA等と連携し、経営の安定化や持続できる経営体に向けて、資金的、技術的サポートを通して畜産農家の育成を図っていく。

一般質問（市長に聞きました）



鹿野 良太



本州初！公立日本語学校開校へ

問 本市が目指す多文化共生社会と多様性の尊重について伺う。

答 多文化共生社会を構築する為の日本語学校の整備は、言語による社会インフラ整備と捉えている。留学生には本市が誇る世界農業遺産を体験し、地元企業とのインターンシップや、地域の多様な年代層及び団体の方々との交流を通じ、本市への愛着が湧き、住み続けたいと思っ頂き、地域社会を構成する人材の確保と、交流・関係人口の拡大を図る。

一方、私たちも、留学生たちの出身国の歴史や文化、宗教観等の違いを認め合い、対等な関係性を築きながら、世界中の大崎として共に生きていくという認識を、地域全体に浸透させる事が重要。

掲載以外の項目

- ・古川西小中学校開校後の様子
- ・学び直し（リスキリング）の推奨
- ・レスパイト入院の現状



八木 吉夫



豊かな暮らしを目指して

問 新型コロナウイルス感染症の位置付けが、5類相当に引き下げられた。今後の経済振興策をどの様に進めるのか伺う。

答 各産業の目標達成に向け、事業者支援、伴走型支援を強化するため、現在準備しているおおさき産業推進機構と協力して推進する。連携・醸成・発信、次世代へつなぐ産業の創造の実現に向け、産業界間の連携を図り、地域経済の安定と発展に繋げる。

問 まちなか整備について、大崎市の玄関口としての古川駅前周辺整備の計画予定、十日町、七日町の整備計画を伺う。

答 駅前周辺の整備は、民間主導による研究会が発足し、将来構想を検討しており、まちの魅力とにぎわいの創出に繋がるよう官民協働で進める。

十日町、七日町周辺整備は、既存施設を生かしながら、まちのにぎわいや活性化に繋がる対策を関係機関と連携して取り組む。

議会報告・意見交換会への御礼

令和5年議会報告・意見交換会を開催しました。

意見交換会は「アフターコロナにおける地域の活性化について」をテーマとして地域単位では、延べ189名の皆様にご参加頂き、貴重な御意見を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

なお、詳細は「市議会だより第79号」（12月1日発行）でお知らせします。

地域単位開催会場（12回実施）

●は夜間に実施

- ・7月10日 ●古川中里・駅南コミュニティセンター ●松山公民館
- ・7月11日 ●宮沢地区公民館 ●三本木総合支所
- ・7月12日 ●パレットおおさき ●鬼首地区公民館
- ・7月13日 ○大崎市役所 ●田尻総合支所
- ・7月20日 ●大崎市図書館 ●鹿島台総合支所
- ・7月27日 ●古川西小中学校 ●岩出山総合支所

各団体との開催状況

総務常任委員会

- 8月21日 多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク
大崎市スポーツ少年団

民生常任委員会

- 7月18日 私立保育園園長会

産業常任委員会

- 8月21日 道の駅おおさき
8月24日 東鳴子温泉観光協会
川渡温泉観光協会

建設常任委員会

- 7月28日 大崎市管工事業協同組合
7月31日 大崎市建親会



私立保育園園長会との議会報告・意見交換会（第1委員会室）



大崎市建親会との議会報告・意見交換会（大崎市図書館）

ご参加頂きありがとうございました!

議会の主な動き

- 5月**
 - 8日 議場開場式
 - 15日 民生常任委員会（調査視察）
 - 22日 議会運営委員会
 - 23日 議会改革推進協議会幹事会
 - 24日 建設常任委員会
 - 26日 民生常任委員会
 - 29日 総務常任委員会
 - 30日 産業常任委員会
 - 31日 総務常任委員会
- 6月**
 - 1日 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会（以下「新型コロナウイルス特別委員会」）
 - 2日 総務常任委員会
 - 8日 建設常任委員会
 - 8日 議員全員協議会
 - 12日 議会運営委員会
 - 15日 情報化対策特別委員会
 - 15日 議員全員協議会
 - 19日 本会議（第2回定例会）
 - 20日 総務常任委員会
 - 21日 総務常任委員会
 - 22日 本会議
 - 22日 議員全員協議会
 - 22日 本会議
 - 22日 民生常任委員会
 - 22日 議会運営委員会
 - 22日 産業常任委員会（調査視察）
 - 23日 総務常任委員会

議会の主な動き

- 7月**
 - 12日 総務常任委員会
 - 18日 総務常任委員会（行政視察）
 - 18日 民生常任委員会（調査視察）
 - 21日 情報化対策特別委員会
 - 27日 総務常任委員会（調査視察）
 - 28日 情報化対策特別委員会
- 8月**
 - 3日 総務常任委員会
 - 22日～24日 民生常任委員会（行政視察）
 - 23日～25日 総務常任委員会（行政視察）
 - 28日 議会改革推進協議会幹事会
 - 29日 民生常任委員会
 - 30日 建設常任委員会
 - 30日 産業常任委員会
 - 31日 総務常任委員会
- 26日** 総務常任委員会
- 26日** 本会議
- 27日** 議員全員協議会
- 27日** 議会運営委員会
- 28日** 本会議
- 29日** 本会議
- 30日** 新型コロナウイルス特別委員会

令和5年度行政視察の受入れ状況

大崎市議会では、他市町村等からの行政視察の受入れを行っております。

	月 日	都市名	調査事項
1	5/12	宮城県議会	陸羽東線の利活用促進
2	5/16	千葉県我孫子市議会	世界農業遺産大崎耕土等
3	5/17	山形県鮭川村議会	災害時の住民への情報伝達
4	5/26	富山県黒部市議会	鳴子温泉の観光政策等
5	5/30	宮城県議会	大崎市消防団の活動状況
6	7/26	鹿児島県志布志市議会	水管理システムによる水田水位の遠隔管理
7	8/9	福島県南相馬市議会	大崎市話し合う協働のまちづくり条例

議 場 開 場 式

令和5年5月8日の新庁舎供用開始に併せて、議場の開場式を開催致しました。式では、副議長の開場宣言、議長、市長からの挨拶、ご臨席を賜りました衆議院議員小野寺五典様、当別町長後藤正洋様よりご祝辞を頂戴致しました。

また、開場アトラクションとして、コーラスグループのスターリーブス様にご出演頂き、ミニコンサートを開催致しました。最後に出席者全員で大崎市民歌を斉唱し、閉式致しました。



開場宣言をする
佐藤副議長



スターリーブスの皆さんによるミニコンサート

ウエストライン整備促進フォーラム

令和5年6月5日にみちのくウエストライン「新庄酒田道路・石巻新庄道路」整備促進フォーラムが、みちのくウエストライン建設促進関係市議会連携会議の主催で大崎市を会場に開催されました。第一部では、国土交通省東北地方整備局長山本巧氏を講師に迎え、基調講演を頂きました。第二部では、沿線自治体の議長・首長、商工会議所の代表者10名による意見発表が行われました。

フォーラム参加者134名が、日本海と太平洋を最短で結ぶ、東北中央部ににおける東西交通軸としての重要性を改めて認識し、ウエストラインの整備促進に向けて、一丸となつて進んで行く事を確認しました。



みちのくウエストライン整備促進フォーラム

第75回おおさき古川まつり

令和5年8月3日、4日に「第75回おさき古川まつり」が開催されました。2年度から新型コロナウイルス感染症によりオンライン・縮小・中止を余儀なくされておりましたが、4年ぶりに通常開催となりました。

2日には前夜祭として花火大会が行われ、3日には古川おどり、創作みこしパレードが、4日には古川まつり太鼓が行われ、地域交流センターあすもでは、東京都台東区江戸下町職人展、姉妹都市うまいものフェアが開催され、大変盛況でした。

議会としても、4年ぶりに古川おどりに参加させて頂き、華やかな七夕吹き流しと、祭りの活気を肌で感じる事ができました。



古川音頭とOH!!SAKi ダンスを披露

表彰

第99回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として10年以上在職（町議在職期間は1/2加算）し、市政の振興に努められた功績により、3名の議員が表彰を受けました。

◎議員35年以上

佐藤 勝

◎議員20年以上

只野 直悦
木内 知子



佐藤勝議員は、撮影時に欠席されております。

表紙の写真

今号の表紙は川渡温泉駅開業109年記念事業として行われた幻燈会の様子です。幻燈とは、フィルムに写した像を幻燈機（スライド映写機）を使い映写幕へ映して見せるスライドで、今では聞き慣れなくなりましたが、映画以前の時代に流行し、宣伝や学校教材等にも使用されました。当日は「銀河鉄道の夜」のスライド投影に合わせ、物語の朗読とオーディオオンと歌による伴奏が入り幻想的な空間となる中、時折カンカンと列車が近づく警告音や列車が走る音が聞こえ、陸羽東線の魅力を感じられる、見事なコラボレーション企画でした。



新しい議場を紹介します

議 場

内装や天井は市産材をふんだんに使用し、温かみのある議場となっています。
 議場内は、段差を解消してバリアフリーにも配慮しております。
 また、議場内モニターを設置し、発言の残時間や議案の採決結果が映し出されます。



傍聴席

傍聴席は3列・45席
 車イスやベビーカー用のスペースもあります。



ファミリールーム

声が漏れにくい防音仕様で、お子様と一緒に気軽に傍聴が出来ます。



授乳室

議会フロアには授乳室を設けております。

編集を終えて

第2回定例会が終わり、7月中旬、某神社の例大祭が4年ぶりにフルサイズで行われ、たくさんのお店の効果もあってか多くの人でにぎわっていました。私もどうしても初日にお参りがしたいと思い、午後9時過ぎに神社を訪れましたが、その時見た光景がとても微笑ましかったです。高校生くらいの男子2人と女子2人がお祭りから帰るところで、交差点で男子と女子に別れました。その際、男子達が「またね！」と手を振って女子を見送り、姿が見えなくなった後にハイタッチをしてガッツポーズ。これが青春、これが日常だよな、と私も嬉しくなりました。
 コロナ禍で様々な制約があった青春。日常が取り戻され、若者達が心置きなく交流し、お互いの笑顔を自然に認識できる世の中を切に願うものです。

早坂 憂

◆情報化対策特別委員会◆

- 委員長 鹿野 良太
- 副委員長 石田 政博
- 委員 小玉 仁志
- 委員 加川 康子

中鉢和二郎

山田 匡身
 早坂 憂
 後藤 錦信